

1 学校教育目標

諸法令及び都・足立区の教育目標や基本方針を受け、人権尊重の精神を基盤とし国際化・情報化の社会を自分らしく生き、自己実現できる児童の育成を目指した教育目標を設定し、全教育活動を通してその具現化を図る。 ○思いやりのある子 ○よく考える子 ○やりぬく子 ○元気な子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	●夢や希望を育む学校→★子どもたちの日々の生活に、教育目標や高い自尊感情が目に見える姿として現れている学校 ★教育への使命感に満ち、協働と研鑽で充実した教育を推進する学校 ★心の通い合う温もりがあり、教育機能を発揮するために保護者・地域と連携する学校
○児童・生徒像	●夢や思いに溢れる児童→★思いやりのある子…互いの人格を尊重し、正義と思いやりをもつ優しい子 ★よく考える子…進んで取り組み、よく考え、伸び伸びと表現する子 ★やりぬく子…目標をもち、最後までやり遂げる子 ★元気な子…安全で健康な生活を心がけ実行する子
○教師像	●夢を語り、希望を抱かせる教師集団→★子供の夢を育み、力を引き出すために、教育の質的向上を目指す[自ら学ぶ教師] ★教育目標の達成を目指し、創造的・建設的に教育力を高め合う[協働する教師] ★説明責任を果たし、信頼される学校づくりに努める[開かれた教師]

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

創立147年を迎える区内有数の歴史と伝統をもつ本校は、熱心で協力的な地域や保護者の方に支えられ、落ち着いた雰囲気の中で教育活動を展開している。明るく素直な児童が多いが、近年は学習や生活で配慮を要する児童も増えており、全職員と関係者と連携しながら組織的に対応している。必異動の教員や若手教員の割合が増す中、学校全体としての指導力の維持・向上が課題となっているが、力量あるベテラン教員がOJTを通して若手の力を伸ばす文化が根付いており、総合力を維持しながら現在に至っている。

【前年度の成果と課題】

「学力向上」については、指標とする区学力調査の通過率が国語84.2%、算数81.7%であった。大半の学年が区の目標値を上回っているが、「思考・判断・表現」などの観点では区の平均値を下回っている学年も見られる。資料の読み取りから課題を解決する力に課題があり、教科書をきちんと読むことができる読み取る力を育成する取組の充実が必要と考える。「豊かな心の育成」については、学校評価アンケートで「楽しく学校生活を送っている」、「自分をかけがえのない存在だと思う」の2項目は高い数値で目標を達成した。ただ、登校渋り等の状況に変化は乏しく、コロナ禍で減少した他者との関りや自他が認められる場面を実施可能な方法で設定していく必要がある。「体力向上」については、男子の握力、高学年男子の投力、女子の柔軟性が都の平均値を下回っている。今後も体育授業の質的改善を進めるとともに、運動の日常化につながる取組の充実を図る必要がある。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成	○	○	○	○	○
3	体力の向上	○	○	○	○	○

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎学力の確実な定着		・区学力調査の通過率 80%以上 ・ワークテスト正答率 80%以上							
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	朝学習	全児童 国語 算数	毎火・水 始業前 10分	担任 漢字や計算の習熟及び確認 テスト(A I ドリル含む)	・区調査の言語・技能の 領域正答率 ・ワークテストの正答率	・正答率が区平均 値以上 ・ワークテストの正答率 80%以上			
2 継続	放課後 補習教室	個別指導が 必要な児童 国語 算数	毎週 火・木 30分	担任+専科 つまずきに応じて、ドリル (A I ドリル含む)等で個別 指導					
3 継続	授業改善	全学年 全教科	通年	全教員 足立SDによる授業、教科指 導専門員による授業観察と 指導、校内研究の推進	・区学力調査 ワークテスト「思考」 面の正答率	・正答率が区平均 値以上 ・左記調査項目 の正答率 80% 以上			
4 継続	家庭学習 の充実	全児童 全家庭	通年	全教員 低 15分×学年、高 60分の漢 字や計算等の家庭学習を課す	学校評価 アンケート	家庭学習ができた と回答する保護者 90%以上			
5 継続	読書活動 の推進	全児童 図書	通年	担任 学年ごとに目標記録を設定し、 達成を目指す	児童の 読書記録	目標達成児童 が 80%以上			
6 継続	ICT を利 活用した授 業の推進	全児童 全教科	通年	全教員 ICT 機器の利活用でより効 果的な授業を提供する	・区の効果検 証項目「教 員の不安 感」の結果	「ICT で効果的 な授業が できない」と 答える教員 が 20%以下			

重点的な取組事項－２		豊かな心の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自他をかけがえのない存在としてお互いを認めたり、力を合わせたりすることができる「思いやりのある子」「やりぬく子」の育成		学校評価の項目「児童は楽しく学校生活を送っている」の肯定的回答が90%以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
心の教育の推進	「いじめ」に関する教員研修と授業を3回以上実施、人権教育年間指導計画に沿った教育活動の充実と年2回以上の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業地区公開講座での「いじめ」に関する授業公開と協議、研修の実施 ・人権教育年間指導計画の定期的な振り返りと評価する機会の設定 			
異年齢集団での活動	異学年による「なかよし班あそび」での活動6回以上、行事における異年齢の交流活動2回以上 幼・保育園との交流2回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・集団編成の工夫も含め、異学年での集会や遊びで交流する。 ・連携幼・保育園との「小学校体験」や行事への参観。 			
自尊感情や自己肯定感を高める支援の充実	学校評価項目「児童は自分をかけがえのない存在だと思い、伸び伸びと自信をもって行動している」の肯定的回答が90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動や地域行事等を通じた児童の活躍の場とそれを認める機会の保障・拡充 ・「よさや活躍」に着目した情報の共有に向けた打合せや掲示板等の活用 			
不登校やその傾向がある児童への支援の充実	不登校の出現率前年度比10%以上削減	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議による関係者間の迅速な情報共有と方針の確認、組織的な支援の実施と計画的な評価と改善 ・2回実施のQU検査を活用した学年や学級経営の充実 			

重点的な取組事項－3		体力の向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
心身ともに健康な子供の育成		<ul style="list-style-type: none"> 都体力調査の体力合計点が都の平均値を上回る学年が60%以上 学校評価項目「学校は体力向上の工夫をしている」の肯定的回答が90%以上 			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体育科授業の改善	都体力調査の児童質問紙調査項目「体育の授業は楽しいですか」の肯定的回答90%以上	<ul style="list-style-type: none"> 体育科における1単位時間の明確なめあての提示と振り返りを実施する。 実技を含む体育科の校内研修会を3回以上実施 			
年間を通じた体力向上の取組と運動の日常化の推進	都体力調査の児童質問紙調査項目「1日の運動時間」で30分未満の児童割合が20%以下	<ul style="list-style-type: none"> 運動の日常化を視野に入れた運動朝会や集会を年10回以上、運動行事とそれを含む旬間の実施、 区のスポーツ大会への参加。と休み時間の外遊び奨励。 			
運動を愛好する意識や自己の記録に挑戦する意欲の高揚	都体力調査の児童質問紙調査項目「運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか」の肯定的回答90%以上	<ul style="list-style-type: none"> 体力テスト、水泳、持久走、縄跳び等の個人記録を家庭と協力して蓄積、目標達成に向けた取組を校内外で進めていく。 連合運動会等も含めた学校や学年の平均記録及び最高記録を校内に掲示。 			